

☆★第2次鹿屋市総合計画 基本目標・基本施策等に対する自由意見★★☆

基本目標1 やってみたい仕事ができるまち

【基本施策】①活力ある農林水産業の振興

②商工業の振興と雇用の促進

年 代	自 由 意 見
10 歳代	● 町内でボランティア等の手伝いをしたい。 ● 少子高齢化が進む上でも若者の活躍を期待して様々な取り組みをしていこうとしているのはとても良いことだと思う。 ● UI ターンの促進につながる取り組みだと思うから。 ● 取り組みに参加したことがあるから。
20 歳代	● 私も鹿屋女子高等学校を卒業しましたが、在学中に就職先を決める参考になりました。 ● 鹿屋市から市外の大学へ進学し、賃金の低さや地元企業への理解度の低さから卒業後に鹿屋市へ戻って就職する人が少ないため、若者が市外で慣れ親しんだ企業を鹿屋市に多く参入させると良いと思う。 ● 活動をしてる内容を知らなかったのもっと行っている事業をPRしてほしい。
30 歳代	● 新規就農者や農業後継者への支援について、どのような支援なのか具体的にアピールして欲しい。合同就職面談会の回数をもっと増やして欲しい。 ● インターネット等で情報提供しているのを知っている。都会から帰ってくる人は、IT系の仕事をしている人も多いため、ネット環境などの支援も欲しい。 ● 私の弟は新規で農業をしようと頑張っています。ですが支援が少なく、生活が苦しい状況です。家庭もありますのでもう少し支援をしてほしいと思います。私だったら生活できません。農業こそ休みはありません。もう少し寄り添ってほしいです。 ● 自分が移住してきたので、U・I ターンの充実はとても大切だと感じます。 ● 両親が高齢になり、地元に戻ってる方も少なからずいると思うが、都市部に比べて賃金も高くなく、娯楽も利便性もあまり評価できない土地に若い人は戻らないと思う。市外で安定した職があり、生活基盤ができているなら、あえて地元に戻ってこいとは私は言えない。 ● 面談会を実施することで就職希望者は新たな働き方がみつきそう。 ● 会社員、公務員の副業推進を市が推してくれたら助かります。 ● 就農についてはもっと積極的に行政が関与しても良いと思う。 ● 若い世代が戻ってくる具体的理由が見当たらない。 ● やってみたい仕事ができるようになるというのは大変いいことだと思うが、それ以前にやるべきことがあるのではないかな。 ● まず、若者が少ないので、起業してもなりたない。価格が安い物しか田舎の人は買わない→給料が少ない→自分1人の事で精一杯→結婚できない→子供を作らない。悪循環。 ● 何するにしても結局計画倒れ感が否めない。 ● 特に市からの宣伝を目にしない。

年 代	自 由 意 見
30 歳代	● 自分の好きな事が仕事にできたらすごく幸せだと思う。 ● 積極的に移住フェアなどにも参加していると感じている。
40 歳代	● 毎日の食事（食材）は、農業の人たちのおかげで食べられている。少子高齢化の今、若者が農業の道を選択するというのは、よほど魅力がなければならないと思う。農業を身近なものと認識してもらう活動が必要だと思う。 ● 農林水産業の後継者や新しく就きたい人への支援。 ● 移住して農業を始める人に空き家をリノベーションして安く提供するなど、再利用と農業促進してほしい。 ● 外部にばかり目を向けるのではなく、ずっと鹿屋で頑張っている人にも目を向けてほしい。 ● 就業人口が減ることにとっても危惧しているので、取り組みを積極的に行ってほしい。 ● 鹿屋市は和牛で日本一を獲得したのにも関わらずふるさと納税で宮崎に負けている。多くの人は和牛目当てで納税していると思われるが、行政と民間が一体的になって取り組んでいないのが残念。そんな鹿屋市に農林水産業の振興が果たしてできるのか疑問。市民に貢献することを本当に実行しようとしているのか。鹿屋の現状を見れば明らかだと思う。 ● もっと広く企業に声をかけるべき。一定の企業だけに声をかけないことが大事。 ● 就職できるところが少ないと思う。 ● U I ターンの若者が鹿屋のまちで新たな事業を生み出していてくれることを期待したいです。 ● 農業など実施していける方が少なくならないか心配。 ● やってみたい仕事をサポートしてもらえると、若い人のやる気に繋がるから。 ● アピールしていることすら知らないのですが、どこに向けてアピールしているのでしょうか。 ● 合同企業説明会にブースを作ったことがありますが、「就職希望者を待っている」スタンスです、積極的にスカウトするぐらいの攻撃性が必要ではないでしょうか？ 人手不足の時代にあれでは優秀な人材は確保できないと思います。 鹿屋市のホームページでもマッチングできるサイトを運営してみてはどうでしょうか。 ● 若者が離れるばかりで活気がないので県内外の人が残りたいと思えるように賃金 UP して欲しい（特に製造業など）。 ● 雇用もだがまず人がいない。 高齢者ばかりが増える。 ● 地元に戻ってくる方に安心して働ける場所があれば安心。 ● 環境の充実が出来るかどうか。 ● 新規学卒者に関しては、若者にとって魅力的な町で、雇用の場が多くなければ、難しいと思う。 ● やってみたいくてもなかなか仕事がないのが鹿屋市だと思います。

年 代	自 由 意 見
40 歳代	● 地元に戻りたい、鹿屋にきたいと思う人がもっと増えるような取り組みを期待している。 ● 鹿児島市内からUターンで戻ってきたが、給料がどこも安すぎて戻りたくなかった。 ● 生活するだけで精一杯です。 ● 病気で仕事をする時間も限られているのでなかなか仕事がなく家庭の事情で高校も中退しているので資格など私にはスキルもないので支援して教えて頂きたいです。 ● 実感できることがない。 ● UターンやIターンだけでなく、地元就業者も転職しやすくしてほしい。 ● 困窮者への就職支援の政策が分かりづらい。 ● 全国と比べて、他の地域や都会より 賃金が低い。若い労働力を担う年齢層の流出している現状なので、現在、鹿屋市で働いている人の待遇を良くしてマンパワーを大切にしたいと思う。 ● 農林水産については、多くの材料があるため。 ● 娘と合同企業説明会に参加しました。とてもいい機会だと思いました。子ども達が、なりたい職業を持つのはなかなか難しいので、地元の企業や職種などを早くから知ることができるとありがたい。 ● 新規学卒者よりも、他の市でも取り組んでいることが少ない障害者・高齢者の雇用を進めるべき。 ● 市外に転出している若者が戻ってきて欲しい。 ● 若者が帰って就業したくなる町になれば、若者も増えると思う。 ● 合同就職面談会でもっと鹿屋市に就職したいと思えるような鹿屋市のアピール、魅力を全面に出せる何かがあったら良いと思います。 ● 補助金を利用して色々取り組んでいると聞くことが多い。
50 歳代	● 合同の面談会に参加する企業がもう少し増えれば良いと思う。広告等で見かけたりするが少なく感じる。どんな取り組みで会参加の企業を募ってるのか分からない。 ● 新卒者もU・Iターン者も就職できる企業がなさすぎる。 ● 合同就職面談会は、高校新卒者向けだと思っていた。大卒者なども多く参加しているのか。また、参加対象者が幅広いのなら周知してほしい。 ● もっと企業誘致など受け皿を増やさないと、商工業の振興は厳しい。なぜ若者が市外に出ていくかしっかり考えれば分かることではないか。鹿屋市に魅力がない、期待が持てないのでは。 ● 鹿屋市の農業販売額は県内トップだが、個人の農業所得はそれに比例していない。特に露地栽培等は年々耕作単価（肥料、燃料等）が上昇し、10年前と比べると約2～3倍の経費がかかるが販売価格は約40年前と変わらず、低価格の据え置きが現状である。また、他市町と比べて鹿屋市の支援もなく、若者の就農が難しいのが本音である。

年 代	自 由 意 見
50 歳代	● 新卒者も U・I ターン者も就職できる企業がなさすぎる。 ● 合同就職面談会は、高校新卒者向けだと思っていた。大卒者なども多く参加しているのか。また、参加対象者が幅広いのなら周知してほしい。 ● もっと企業誘致など受け皿を増やさない限り、商工業の振興は厳しい。なぜ若者が市外に出ていくかしっかり考えれば分かることではないか。鹿屋市に魅力がない、期待が持てないのでは。 ● 鹿屋市の農業販売額は県内トップだが、個人の農業所得はそれに比例していない。特に露地栽培等は年々耕作単価（肥料、燃料等）が上昇し、10 年前と比べると約 2～3 倍の経費がかかるが販売価格は約 40 年前と変わらず、低価格の据え置きが現状である。また、他市町と比べて鹿屋市の支援もなく、若者の就農が難しいのが本音である。 ● 農業は大変だというイメージの方が湧きやすいので、それを超える楽しさややりがいを出していくべき。 ● 仕事から得た利益を使う場所がないでしょ。遊ぶ、遊びに行くって、やっぱり鹿児島市内へだったり、他所へ。仕事ができる又職があるだけでは、町の魅力にはつながりませんね。 ● 様々な職種がないので、選べない。来てくれる企業もなさそう。 ● 需要が無いと仕事も成り立たないから、ネットなどの新しい環境を整えてもう少し PR の仕方とかも広めて行けたらと思う。 ● 輝北町での新規農業などの失敗を見たから。 ● わざわざ賃金の低いところに来る人はいない。せいぜい親の介護などで仕方なく帰ってくるか、退職して帰ってくるかだと思う。 ● 鹿屋市は、安くて美味しいお店が沢山あるので鹿屋市が美味しい店マップなど作成し鹿屋市以外の方に PR してほしいです。 ● とにかく収入がないと定住なんてできないでしょうから良いことだとも思います。 ● もっと I ターン、U ターンしやすいように行政もサポートを手厚くして欲しい。 ● 給料面が低い。 ● そもそもなにをするにも需要が大切だか人工が満たしているか疑問。 ● 若者が帰ってきてできる仕事がない気がします。農業は大変だけど、やりがいがあるって収入も良ければ、する人がいるかもしれません。 ● 職業の選択肢や、雇用の場が増えれば若者の地元離れも減ると思いますし、他方から労働者を呼び込む事も出来るのではないかと思います。 ● 優秀な若い世代は鹿屋から出てしまうから。もっと魅力ある職種や企業が鹿屋に来てもらえるようにした方が若い世代の流出は減ると思います。

年 代	自 由 意 見
60 歳代	● 中小企業の労働環境改善が離職防止につながる。企業の努力を後押しする市の施策に期待したい。 ● 近年、農業の従事している人の高齢化が進んでいる。後継者を育てるための市の支援が急務だと考えます。 ● 農業が衰退していくのが目に見える。田畑が荒れていくので、後継者が増えると良いと思う。また、若者が働く場所が少ないので、増やしてほしい。 ● 豊かな地域性を生かして農業の充実に取り組んでほしい。農協に頼るのではなく、独自のやり方でしてほしい。眠っている土地はいっぱいあります。 ● 基本目標はいいのですが、結局は普通の面接と同じで学歴、職業経験を重視しているの、それについていけない人たちは仕事がないという状況になっていると思います。 ● 市職員の年度単位での募集は毎年行なっているのか、何年も同一人物が臨時職員として正規職員同様勤務しているように思える。人がいないということもあると思うが、アルバイト、パートが正職員以上に同一現場に在籍しているような状況はされた方が良くはないか。 ● 鹿屋市で農業する魅力の発信や、状況が見えにくいため、見える化したらどうか。企業誘致はいいが、鹿屋に来るメリットが見えず、物流にも時間とお金がかかる。もっと交通の便が良くならないか（港、空港、高速）。 ● 基幹産業の誘致が最大ポイント。若者が転出しなくても安心して仕事ができるいくつかの大企業を早く誘致すべき（土地、税などは市が保証）。 ● 子供が仕事をしたいという街になれば、もっと若い人が増えるのではと思います。高齢者も少しだけ働ける場所が欲しい。 ● 後継者が増えて農林水産業が栄えていますか？ 数値的な結果が出ていないのにほめてもらいたいのですか？ 私の一人息子も、仕事も楽しみの無い鹿屋から出て福岡に行きました。 ● 地元で働けるようにする。職場を提供する。 ● 雇用の促進は全くできていないと思う。鹿屋市は高齢者が多い。若者がいない。 ● 帰ってきて働く場所が無い。若い人達には頑張って欲しい。 ● 地球温暖化時代には国や市がサポートしない限り無理だと思います。今年は米が不足する事態になり食の大事さが分かったと思います。 ● 古い考え方は捨て、新しい事を取り入れるかのや市。Uターン、Iターンでも安心して生活できる様な企業誘致（大型）。自衛隊への米軍誘致など、チャンスは有るのでは。 ● 農地の空き地が増えている。大規模農業への転換期に来ているのではないかと。荒れはてた畑や田んぼを見ていると、何とか有効活用できないのだろうかと思う。 ● やってみたい仕事ができる、は理想。当たり前の事。いかに具体化するかでは？ ● 若い子が住める街になって欲しい。

年 代	自 由 意 見
60 歳代	● 収入保障が必要だと思う。 ● 鹿屋の特性を活かして欲しい。 ● 高齢者の雇用を充実してもらえるとありがたい。 ● 鹿屋市の企業をもっと誘致して欲しい。 ● もっと、多くの雇用が実現出来るように、企業に進出して欲しい。 ● 若者が増えて活気のある鹿屋市になるといいと思います。
70 歳代	● 新卒者や U・I ターン者が定着できる企業のプランと対策を提示、実行して欲しい。 ● ビニールハウスが増え、就農する若い人が増えた話は聞いている。頑張っほしい。 ● 具体的な指示が見えない。大隅は日本にとって北海道に次ぐ農業地と考える。専門の大学等を作り、世界中から若い人たちの学びの地であっても良いのでは。 ● U ターン出来る様に市役所の中身を変えることが必要。 ● 耕作放棄地を市などで買い取り、管理・耕作する。耕作放棄地は農地に特化せず、宅地等にも活用できるように地目変更を簡単にする。 ● 人口の増加を 1 番に考え、大企業を誘致する。 ● 色々なフリーズドライ製品がある昨今ですので、魚を使ったり特産品（農作物）をフリーズドライ製品に加工することに挑戦してみるのも良いかと思います。 ● 歳を取って U ターンして戻ってきました。就職先は見つけてもらいました。シルバー人材センターで働きました。感謝しています。 ● 私がよく知らないだけかもしれないが、今後市の財政的なことを考慮した時、若い人が働ける、魅力のある職場が増えて欲しいと思う。 ● 若い人の雇用対策の推進 ● 大型農業は法人化したところだけです。海岸通りは大型農業機械などが使用できません。高齢化で農業が出来なくなり、小作農地放棄が増加し、イノシシ・サルが多くなって困っています。キヌサヤ・馬鈴薯作りを行い、生計が立てられれば新規農業従事者が来てくれると思う。商工業の振興について市街地集中型ではなく、海岸通りを活かした商店を建設し、若い人が住みやすい環境作りに力を入れて欲しい。 ● 鹿屋市の基本産業は何ですか？市内を巡ってみてもそういった看板やアピール等を見かけないです。自衛隊からの利益が主なのでしょうか。 ● アカデミックな大学の誘致は、将来の企業の招来や経済の活発化が図られると思料されます。

年 代	自 由 意 見
80 歳以上	● 使わなくなった田畑の利用を真剣に考えていかななくてはならない。空き地の荒廃が気になる。 ● 畑も空き家も多い。農業後継者に対する支援は必要だと思う。上野町ですが米作の隣の田んぼが荒れているのでなんとかならないかと思っています。耕地を1本化して野菜・米などを作るようにし、輸入に頼らず何とか地元で賄えるような仕組みを作ってみてはどうでしょうか。 ● 農地の集約（1ヶ所に集めて拡大する。荒地が多い。） 高土手を機械で払う。